高商連ニュース

高知県商工団体連合会 NO.926(52-3)
〒780-8035 高知市河ノ瀬町33
TEL088-832-4838 FAX088-832-3126
Ｅメール kosyoren@citrus.ocn.ne.jp
ホームページ http://kosyoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連第５２回定期総会 続報①
高商連共済会第３６回定期総会 発言など

9月6日(日)に開催した高商連第52回定期総会、高商連共済会(県共済会)第36回定期総会での発言等を報告します。

【東谷勝喜県連会長挨拶】

台風10号も心配されますが、出席のみなさんご苦労様です。コロナの関係で代議員数も少なく、短時間の開催としました。早期のコロナ感染症収束を願っています。

憲法を変えたいだけの安倍首相が辞任を表明しました。政治的に追い詰められた結果です。

コロナ対策では全民商が奮闘しています。各民商からの発言も参考に、さらに運動を強めましょう。

【森県共済会理事長挨拶】

お忙しい中ご苦労様です。

短時間の総会ですが、皆さんから苦労話や成功した話も聞けると思います。それも活用し、コロナ危機の中でも、みんなが一致団結して、困難を乗り越えていく方針を確認する総会にしましょう。

【代議員の発言より】

○中村：船口千代松会長
＝国保減免の取り組み＝

中村民商は、7月18日に、民商事務所で共産党高知県議団5人と役員6人で、コロナの影響について懇談をしました。その中で、国のコロナ減免に対し、各市町村で申請用紙や対応にばらつきがあることがわかりました。土佐清水市在住の副会長が、先陣を切って申請し、60万円が20万円に減額されました。

中村民商では、現在11名が減免申請を認められ、3人申請中です。減免された会員は「国保減免制度があるということ自体、知らんかった。教えてくれてありがとう」と語っています。

みんなが国保減免になるよう議員さんとも協力し、コロナ不況を乗り切る力にしていきます。

○須崎：岩井優之介会長
＝町で民商が評判＝

昨日、津野町の議員が私のところに来て、「町では民商の評判がまっことええいぜよ。町の商工会はなんちゃやってくれんが。須崎民商はようやってくれると評判になっている」と言っていました。持続化給付金は、申請46名、受給者41名、４１４０万円。他にも各種申請の対応で事務局はてんてこ舞いです。四万十町長と国保減免の懇談も行いました。また、四万十町の住宅リフォームも今年度から復活させることができました。

○仁淀川：上岡孝雄会長
＝コロナ対応と拡大＝

5月と8月にコロナチラシを高知新聞や友好団体の機関誌に折り込みました。費用は印刷代、折込料で20万円かかりました。チラシを見て17人から相談がありました。また、議員からの紹介も5人ありました。結果、会員４人、読者８人、共済５人の拡大です。新入会員は全員共済同時加入です。会員４人拡大は会員比５％超です。あと２名増やして80会員民商を早期に実現し、さらに１００名をめざします。

○安芸：近藤恵子理事
＝56条廃止をめざし＝

所得税法第56条廃止意見書採択を県内35全自治体で達成してから、はや1年がたちます。資料の「全自治体達成の道のり」の報告集に網羅されています。ぜひ、一読ください。民商の役員さんに応援していただいて、県下最後の室戸市での採択ができました。今年だったら、コロナの影響で全自治体達成などできなかったと思います。去年のうちにできていて本当に良かったです。

（次号に続く）

2020年 秋の運動スタート

コロナ対策、自主計算班会、拡大を中心とした秋の運動がスタート。「三密」対策も講じながら、班会・小集会・学習会を開き、コロナ危機の中での経営交流・各種申請の学習、消費税・給付金収入への対応も含めた自主計算などを話し合いましょう。仲間増やしも推進しましょう。

全商連は、１１月１５日の総会を会員増勢で迎えようと、拡大を呼びかけています。高知県連は、前回の全商連総会時の会員数回復まであと４６人です(９月１３日現在)。今年７月・８月の会員拡大は２５人です。９月もすでに４人の会員拡大をしています(左表参照)。コロナ相談、宣伝を強め全商連総会を会員増勢で迎えましょう。

■２０２０秋の大運動（9/1～9/13現在）

	拡大					成果
	読者	会員	共済	婦人	青年	会員
安　芸	0	0	0	0	0	0
香美郡	4	1	0	0	0	4
南　国	1	0	0	0	0	1
高　知	6	3	0	0	0	6
仁淀川	0	0	0	0	0	0
須　崎	0	0	0	0	0	0
中　村	0	0	0	0	0	0
計	11	4	0	0	0	11

成果会員：読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

持続化給付金 ほとんどの農家が対象

安芸民商(会員数68人)は、会員・役員が知り合いに声をかけ、農家対象の持続化給付金の学習・申請会を開催。なんと、予想を大幅に上回る30人が参加。持続化給付金の説明を初めて聞く人が半数以上で、中には「ナスはコロナの影響がないから申請できな」と市役所で言われた人も。商工新聞(９／14)も示しながら、「ほとんどの農業者が申請できる」と説明。(詳細は次号)

■資金獲得実績（累計） ＊金額は万円

9月13日現在		安芸	香美郡	南国	高知	仁淀川	須崎	中村	計
持続化給付金	件数	13	112	51	233	23	41	84	557
	金額	1,737	12,531	5,341	26,200	2,387	4,140	7,750	60,087
家賃支援給付金	件数				1	2		1	4
	金額				不明	73		53	127
県休業協力金	件数	3	19	12	82	3	6	28	153
	金額	90	570	360	2,460	90	180	840	4,590
自治体制度	件数	2	14	23	7	9	17	68	140
	金額	30	282	495	70	49	170	880	1,975
融資	件数		15	3	46	3	3	7	77
	金額		17,650	3,800	11,500	2,800	1,700	1,550	39,000
生活福祉資金	件数	5	28	3	30	5	4	14	89
	金額	90	555	60	690	95	50	340	1,880
雇用調整助成金	件数	1	3		1			2	7
	金額	不明	161		50			50	261
国保、介護減免	件数							12	12
	金額							140	140
合計	件数	24	191	92	399	43	71	215	1,039
	金額	1,947	31,749	10,056	40,970	5,421	6,240	11,550	108,059

上記表以外に８件、１６０万円の資金獲得あり。合計は１０億８２１９万円になります。